

第Ⅰ部 広島県合同輸血療法委員会の開催について

1 概要

血液製剤は、善意の献血を原料とするため資源として限られていることと、その適正使用が輸血療法の有効性に大きく寄与することから、常に最新の知見に基づいた適正な使用を推進する必要がある。

このため、広島県では、各医療機関内に設置されている輸血療法委員会が相互に情報交換を図ること等により、県内における輸血療法の標準化を図り更なる適正使用を推進することを目的として、昨年度、広島県合同輸血療法委員会を設置し、次のとおり第2回会議を開催した。

2 開催結果

(1) 平成23年度事業の報告及び平成24年度事業の検討

昨年度の事業内容及び今年度の事業計画について、協議し了承を得た。

また、昨年度に引き続き、平成24年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業（厚生労働省）に企画提案を行い、採択された場合の活動方針について協議し合意を得た。

昨年度の活動報告により、次の点が示された。

今後の課題	
	① 各医療機関の輸血療法委員会設置の更なる推進 ② 緊急時の輸血に対応する院内体制の整備 ③ 危機的出血への対応ガイドラインの院内周知
合同輸血療法委員会による具体的方策の提示が必要	
	血液製剤の廃棄を減少させるための方策の検討
今後の取組み	
	○ アンケート調査の継続 ○ 研修会の継続開催 ○ 医療機関の訪問相談事業

(2) 特別講演

第2回の委員会の開催に当たり、特別講演として、旭川医科大学病院紀野修一准教授から「旭川医科大学病院における輸血療法委員会活動～血液製剤適正使用方針の策定とその効果～」と題した御講演をいただいた。

＜開催概要＞

1 日 時

平成24年 7 月28日（土曜日） 15時～17時

2 場 所

日本赤十字社中四国ブロック血液センター 6 階研修室
（広島市中区千田町2-5-5）

3 主 催

広島県，広島県赤十字血液センター

4 議 題

- (1) 平成 23 年度事業の報告
（委員会，研修会及び輸血療法に関するアンケート調査）
- (2) 平成 24 年度事業の検討
- (3) 特別講演
「旭川医科大学病院における輸血療法委員会活動
～血液製剤適正使用方針の策定とその効果～」
（旭川医科大学病院 臨床検査・輸血部 紀野修一准教授）
- (4) その他情報交換

5 資 料

次ページ以下に掲載